

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：三荒弘道 副会長：高橋賢二 幹事：関口幸恵 クラブ会報・IT 委員会委員長：元吉裕昌

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30
会 場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2025 年 6 月 5 日 第 3522 回 週報第 3522 号

本 日 6 月 5 日	会員数 66 名	対象者 65 名	出席者 43(42) 名	出席率 65.15 %			
前々回 5 月 15 日	会員数 65 名	対象者 64 名	出席者 38(37) 名	出席率 58.46 %	MUP 4 名	計 42 名	修正率 64.46 %

第四回情報集会報告会 テーマ 70 周年に向け、今から動く事 PART 3
～さあ 愈々準備が始まります～

赤グループ 阿形将之幹事 発表者：阿形将之幹事

【開催日時】令和 7 年 5 月 30 日 (金) 午後 6 時 30 分～
／「あじさと」
【出席者】三荒会長、嶋田さん (副幹事)、杉山昌行さん、
鈴木さん、秋山さん、芦川さん、和田さん、阿形 (幹事・

書記 / 当日発表者)

テーマ①：70 周年前年
(2025 年) の準備期間における
取り組み1. 平塚再発見プロジェクト
(1) 地域の特徴 (海、自然、
文化、スポーツ、産業) を再
確認
(2) 新たな観光資源の開発 (ビーチライフ、農水産業体験
/ 規格外・未利用魚活用、ものづくり体験)
(3) 『スラムダンク』効果の活用 (ファンを呼び込む施策
を通じ、経済活性化 & 若年層の地域愛を醸成)2. デジタル技術による地域活性化
(1) AR を活用した街歩きアプリの開発 (歴史的名所で AR
を使用し、過去の風景や出来事を体験)
(2) オンラインマルシェ展開 (構築名産品・特産品をオンラ
インで購入できるプラットフォームを構築)3. 自己 (会員 & クラブ全体) と地域の再評価
(1) 70 周年を未来を育む転機として位置づけ

テーマ②：70 周年以降の平塚ロータリークラブの在り方

1. 持続可能な地域づくりの中心的存在
(1) SDGs の地域実装リーダー
(2) 循環型経済モデルの構築
(3) テクノロジーを活用した共生社会づくり270 周年に向けた奉仕活動
(1) 地域と世界をつなぐ架け橋
(2) 国際奉仕活動の強化 (在留外国人への防災支援など)3. 長期的視点での活動計画
(1) 10 年、20 年先を見据えた地域貢献
(2) 若い世代との協働4. クラブの存在価値の再定義
(1) 伝統と歴史の振り返り
(2) 地域社会における必要性＝価値の明確化＜まとめ＞
70 周年を単なる祝賀行事ではなく、クラブと地域の未来
を形作る重要な転換点として捉えるべきと考えます。
また、会員個人とクラブ全体が有り方を見つめ直し、同時
に平塚の特徴や課題を再確認する必要があります。
この過程を通じて、地域社会との関係を深め、新たな視点
や若い世代の意見を取り入れながら、持続可能な活動の
基盤を築くと共に、過去の実績を踏まえつつ、未来志向の
姿勢で革新的なアプローチを模索し、クラブと地域が共に
進化することを目指します。

橙グループ 豊川忠紀幹事 発表者：山森啓太副幹事

開催日時：6 月 2 日 (月) 18:30～20:30
「2 時からビールどん」にて
参加者：豊川幹事、青木薫会員、加川会員、葛西会員、
小林誠会員、塚田会員、成瀬会員、升水会員、又城会員、山森 (10 名参加：出席率
91%)■テーマ 1「平塚ロータリー
クラブの会員として、70 周
年の前年 (準備期間として)、
次年度 (2026 年度) にどう
向き合うか？」◆主な意見と方向性：周年
をどう位置づけるかを踏まえ、270 周年に向けた奉仕活動
(1) 地域と世界をつなぐ架け橋
(2) 国際奉仕活動の強化 (在留外国人への防災支援など)3. 長期的視点での活動計画
(1) 10 年、20 年先を見据えた地域貢献
(2) 若い世代との協働4. クラブの存在価値の再定義
(1) 伝統と歴史の振り返り
(2) 地域社会における必要性＝価値の明確化＜まとめ＞
70 周年を単なる祝賀行事ではなく、クラブと地域の未来
を形作る重要な転換点として捉えるべきと考えます。
また、会員個人とクラブ全体が有り方を見つめ直し、同時
に平塚の特徴や課題を再確認する必要があります。
この過程を通じて、地域社会との関係を深め、新たな視点
や若い世代の意見を取り入れながら、持続可能な活動の
基盤を築くと共に、過去の実績を踏まえつつ、未来志向の
姿勢で革新的なアプローチを模索し、クラブと地域が共に
進化することを目指します。

- ・70周年は通過点であり、100周年へ向けた節目としての意味を確認。
- ・10年単位で積み上げてきたクラブの歩みを振り返る機会とする。
- ・内外への発信と準備体制の整備。
- ・クラブの歴史・活動を外部に知ってもらう契機と捉える。
- ・実行委員会の体制（実行委員長）を早期に明示し、会員全体で準備に参画できる体制づくりが求められる。
- ・会員一人ひとりが「自分ごと」として周年に関わる意識の醸成が重要。

■テーマ2「70周年以降、平塚ロータリークラブが奉仕団体としてどうあるべきか？」

- ◆主な意見と方向性：今までの活動とこれからを見据えて、、、
- ・時代に即した多様で柔軟なクラブ運営。中長期的な継続事業の構築。
 - ・若手・女性・異業種の参加促進。多様性ある組織へ。
 - ・地域との「共創型奉仕」の推進
 - ・行政や学校、企業などと連携し、地域課題を共に解決する活動へ。
 - ・在日外国人（技能実習生、留学生等）支援を通じた新しい国際奉仕の形を追求。
 - ・平塚市は県内最大の耕地面積と米の生産地。農業高校と連携した教育・農地活用型奉仕などの農業を軸とした地域資源活用。
 - ・80周年で成果を検証できるプロジェクトなど、10年単位で見据えた奉仕の設計。
 - ・クラブ活動の広報・発信力の強化。SNS、地域メディア、教育機関等との連携を活用し、クラブの活動と理念を社会に広く届ける。

■総括

70周年は、平塚ロータリークラブがこれまでの歩みを確認し、未来の在り方を描く転機です。会員一人ひとりの関与と地域との協働、そして時代に即した奉仕の進化を重ね、100周年へ向けて持続可能なクラブ像を構築していくことが期待されます。

黄グループ 前田孝平幹事 発表者：チャン・バン・ティエップ会員

開催日：5月24日（土）
開催場所：美美（びみ）
出席者：前田孝平 幹事、元吉裕員 副幹事、木村義広 会員、高橋建二 会長エレクト、杉山利行 会員、相原直子 会員、縄嶋智徳 会員、チャン・ティエップ V 会員



黄色グループの情報集会 5月24日（土）びみにて8名で行われました。以下のポイントで議論と意見交換ができました。

1. 70周年を迎えるにあたり、次年度のクラブの在り方

- 出席率の向上が第一。
- ・平塚 RC は、年齢層が広く、ロータリーの中では若いと言われ、特に 50 歳年代の方が多い。だが、残念ながら

なかなか出席できない。

- ・仕事があるから仕方がないが、活躍できる場所を作りあげ、少しでも 70 周年事業に携わって欲しい。
 - ・普段来られない会員に声を掛け、70 周年は、いつもの人数 40 名の例会ではなく、50 名以上の体制で迎えたい。
 - ・また、来年 70 周年を迎えは、普段なかなか出てこれない方のために、例会も工夫したい。例えば、夜の例会を増やす等、出席率は落ちてても普段出られない方が、出られる例会を作りたい。
- 組織の一体感で、70 周年の事業に取り組んでいきたい。

2. 70 周年記念事業についての意見交換

- ・記念講演の人選は「意義重視」。
- 周年事業は黄色グループのメンバーの半分以上が経験してないですが、記念講演という形で講師を招いて、お話を聞くというやり方があると教えて頂きました。
- お金も掛かるイベントのため、人選において、著名人に限らず、クラブにとって意味のある講演者の選定が望ましい。
- ・70 年の歴史振替のための動画も作りたい。
- 資料がどれだけ集められるか、また、基本的に写真になってしまうということが予想されるが、「設立年の集合写真」があれば貴重な資料となる。

3. 国際的視点と交流活動について

- ・台湾との交流における目的の明確化が必要。
- 形式的な交流ではなく、「なぜやるのか」「何を達成したいのか」を明確にし、必要に応じて見直しを行う。
- ・地域から広がる国際奉仕
- 現在平塚には 6 千人以上がいる。国際的な奉仕活動も、もっと平塚の町のことを考え、その延長線上で国際活動を位置づける発想が提案された。平塚の活性化と国際交流が相互に作用し、両輪としてうまく絡み合うような活動を目指していきたい。

以上、黄色グループでは、温かい雰囲気の中で楽しく、そして真面目に 70 周年に向けて有意義な議論ができました。

緑グループ 新堀将一幹事 発表者：新堀将一幹事

報告会：6/5（木）例会時（クラブ協議会）

- 参加者：新堀氏・白石氏・柏手氏・瀬尾氏・馬上氏
山口氏・青山氏
- 場所：酒 dining 海猫（平塚市明石町）

この度、初めての幹事を仰せつかり不安と緊張の中多くのメンバーの皆様にお集まりいただき無事に緑グループの情報集会を開催させて頂きました

テーマが 70 年に向けてということで経験の多い先輩からお話を聞く形で進めさせて頂きました

内容をまとめましたのでご報告させていただきます

内容を大きく分けると下記の通りです



1. 現在の活動・事業の見直しと発展

・継続事業の見直し

過去から続いている継続事業について、内容や意義を再確認し、時代に即した形に再構築する必要がある。

・国際奉仕事業の立ち上げ

以前より議題に挙がっている国際奉仕活動を、70 周年の節目に合わせて実現に向けて具体化すべき

2. 組織体制と企画運営

・実行委員会の設置

実行委員長を立て、実行委員会を組織し、各種記念事業やイベントの企画・決定を委ねる体制が望ましい。

・60 周年時の事例活用

60 周年では記念講演を開催した実績があり、それを参考にした企画立案が可能。

3. ビジョンと戦略の明確化

・ビジョンの再設定

現在のビジョンは行動規範に近く、より具体的かつ実行可能なビジョンや中長期的戦略が求められる。

4. 広報とクラブ内連携

・早期の広報活動

周年事業に向けた広報は早期に着手し、外部へのアピールを強化すべき。

・クラブ全体の協力体制

決定された企画・方針に対し、クラブメンバー全員が協力して取り組むことが重要。

5. 計画立案の前提条件

・具体的な題目の設定

全体の方向性を考える上で、周年事業の「題目」やテーマが早急に必要。これがあることで議論が深まりやすくなる。

【終わりに】

2027 年に 70 周年を迎えることとなりますが、この節目の年度は、過去を振り返り、未来を描くには最高の好機と考えます。メンバー全員の協力及び、早期行動が成功の重要な鍵になると考えております

青グループ 永瀬剛司幹事 発表者：永瀬剛司幹事

日時：令和 7 年 6 月 3 日午後 6 時 30 分

場所：MARE YUHIGAOKA

参加者：関口、清水、江藤、米山、原田、平井、岡田、小沢、大井、松本、永瀬

①平塚ロータリークラブの会員として、70 周年の前年（準備期間として）、次年度どう向き合うか。

(1) 70 周年記念の式典は来賓がとても多く、大体的、盛大な会となる。参加者皆が、「納得感」を得られる会にするのが良い。準備すべき内容は多く、多岐にわたり、次年度、7 月に入ったらすぐにでも



動き始めるが良い。資金的には、計画的に準備をしているので、これを活用していける。過去の経験を生かして 70 周年を企画していく。

(2) 花巻 RC の 70 周年記念式典は大変良かった。同式典では、式典当日にパンフレット（小冊子）を配布していた。これは、来賓にとって、式典を「納得感」があるものとするのに大変役立っていた。

(3) 70 周年で新たな目標を設定し、70 周年式典当日に新たな事業を発表するのも良い。

(4) 60 周年から 70 周年の間に会員であった、企業出向 OB の方にも声をかけて 70 周年をお祝いできたら良いのでは。

② 70 周年以降、平塚ロータリークラブが奉仕団体としてどうあるべきか。

(1) 各種委員会を作ってきて、それぞれの役割が明確になっている。そして会員の年齢層が若くなってきて、新しい考えが出てくるのが、大変力になっている。この状況を維持していくのが良い

(2) 会員増強を継続し、減らさないことが大変重要である。

(3) 5 大奉仕を引き続きしっかり行っていく。国際奉仕が始まったが、これを現在行われている他の奉仕活動と同様のレベルまで、アップしていく。

(4) この地域の中で平塚ロータリークラブはリーディングクラブであり、国際奉仕を含めて、他のロータリークラブのも見本となるべく取り組んでいく。

(5) 平塚ロータリークラブビジョン声明にのっとり、奉仕活動を行っていく。

(6) 企業出向で、転勤した方ともつながりを持ちたい。OB 会があると良いのでは。現役のメンバーだけでなく、OB も集まる機会があると良いのでは。

(7) 引き続き、お互いをリスペクトしあう関係を保っていく。

紫グループ 小野学幹事 発表者：小野学幹事

【開催日時】 令和 7 年 6 月 2 日（火）午後 6 時から

場所 みくに

【出席者】 常盤さん、片野さん、赤津さん、森さん、柳川さん、守屋さん、米山（範）さん、小野（幹事）

○情報集会第 4 回テーマ『70 周年に向け今からうごくこと』

1. 70 周年にあたり基本にかえり【4 つのテスト】を会員全員で重視して欲しい。

2. 準備に向けて会員全員が参加し、会員全員が協力し、会員全員が盛り上がるようにしてほしい。

3. 今までの事業の見直しをして欲しい。70 周年で新しい事業を増えるならなおさらだ。

4. 70周年を迎えていままでの平塚ロータリーの功労者の表彰をしたらどうか？

5. 早く実行委員会を立ち上げ、早くテーマを決めてほしい。そしてテーマに添って会員全員でやっていくしかない。



上記のことが意見にでたことをまとめました。情報集会はお好み焼き「みくに」さんで和やかにお酒をいれながら行いました。もんじゃ最高に美味しかったです。みんな はふっ、はふっ、食べてました。

情報集会を振り返る

◎第1回情報集会

テーマ：「あなたが求めるROTARY WILL（意思）」～平塚ロータリークラブの意思とは～

第1回情報集会では、会員一人ひとりのロータリーへの想いが多様でありながら、根底には「より良いクラブを作りたい」という共通の意思が存在していることが確認されました。今後のクラブ運営において、これらの声を指針とし、さらなる結束と進化を目指してまいりたいと思います。



◎第2回情報集会

テーマ：70周年に向け、今から動くこと PART1
～目標：会員70名クラブ・出席率80%以上～

第2回情報集会では、各グループが「会員拡大」と「出席率向上」という二大目標に対し、それぞれの視点から具体策を提示し、活発な議論が行われました。共通して見られたのは、単なる数値目標の達成ではなく“人と人との関係性”を軸にしたクラブの文化的再構築への意識でした。



◎第3回情報集会

テーマ：70周年に向け、今から動くこと PART2
～奉仕プロジェクトの再構築～

第3回情報集会では、「奉仕プロジェクトのあり方」を再定義しようとする各グループの姿勢が強く感じられました。単なる“事業案の提案”ではなく、クラブの存在意義や奉仕の本質を見つめ直し、それを未来へとどう継続可能な形にするかという視座に立った議論が展開されました。



幹事報告

◎ミャンマーの大地震の被災地支援金について

5/15と5/22に皆様にご協力頂きましたミャンマーの大地震の被災地支援金が合計48,000円集まりました。5月23日に地区へお送りいたしましたので、ご報告いたします。皆様、ご協力ありがとうございました。

◎平塚ロータリークラブ慶弔規定について

弔意および見舞になります。現行では会員の死亡に際して金一封3万円と『生花1万5千円』となっております。しかしながら生花につきましては数年前より、物価高騰により約2万円掛かるようになっております。そこで、本年度理事・役員会において、協議の結果、生花につきましては、現行の1万5千円と言う金額での定めを『生花1基』と改めさせていただきます。

◎平塚ロータリークラブ了解事項について

6番項に『台南東区ロータリークラブ積立金として、記念年度まで毎年10万円を積立する』とありますが、現況としては、行われておりません。こちら、本年度理事・役員会において協議の結果、削除をして、『適宜該当年度理事・役員会で協議・決定をして行く』と改めさせていただきます。

◎平塚ロータリー文化賞贈呈式メディア掲載について

明日、6月6日号タウンニュースに、先日行われた『平塚ロータリー文化賞贈呈式』の記事が掲載されます。どうぞ、タウンニュースをご覧ください。

◎ポリオプラスセミナーについて

6月7日(土) 13:00より第一相澤ビルにてポリオプラスセミナーが開催されます。米山俊二 次年度財団委員長と又城 次年度ロータリー財団委員長のお二人が出席されます。

◎地区補助金説明会について

6月11日(水) 15:00より第一相澤ビルにて地区補助金説明会が開催されます。高橋会長エレクトと嶋田次年度幹事が出席されます。

◎次週 6月12日例会は三荒会長の卓話です

昨年7月4日今年度第一例会で会長所信を語られましたが、来週は会長として過ごされた1年間を振り返っての様々なお話となるかと思えます。私も内容は存じ上げませんので楽しみです。どうぞ、皆様、ご出席をお願いいたします。合掌！

委員会報告

○雑誌委員会 葛西敬委員長

まずはRI会長最後のメッセージ

次に多くのクラブの例会で歌われているロータリーソングについて、例会で合唱するようになったきっかけと、日本でロータリーソングが歌われるようになった経緯を見ていきましょう。

18ページ目、規定審議会、その歴史

1989年から、会員制のロータリークラブの会員資格は男性のみに限定されていましたが、女性の入会を認めるようになり、歴史的な出来事が記載されています。

2022年の記事に触れており、公平さ、インクルージョンを加えるという時代背景の変化が記されています。

以上、1年間ありがとうございました。

○七夕をつくる会 升水一義会員

第73回の七夕祭りもいよいよあと1ヶ月、7月4日から開催されます。

平塚ロータリーも、60周年の記念事業の一つとして、七夕飾り、祭り参加を約20年続けてきました。

多くの皆様にご協賛をいただきありがとうございます。

6月18日18時30分より飾り作りを市民プラザ駐車場6階で行っております。飾り作りに興味のある方、平塚のロータリーの方々を作ったという方は、当日参加も可能です。

是非ご参加をお願いしたいなと思います。

○国際奉仕委員会 清水裕委員長

今まで平塚ロータリークラブは国際奉仕がなかなか持続していかないということがございまして、身近なところというと平塚市には約6000人の外国籍市民の方がいらっしゃいます。

平塚も色々な災害がございまして。これに関して外国籍の方がどの程度の情報を知ってらっしゃるのかと言うと、あまりその手のセミナーをしてないという事だったので、ではこの部分をロータリーとしてやっていこうということで、今年、70周年に向けてのトライアルとして、5月17日、平塚商工会議所の特別会議室で、平塚の外国籍の方の防災セミナーを実施しました。

会員の方の従業員の方を6名お願いしました。ロータリアンも14名、市からは災害対策課と文化交流課の方たちがそれぞれ2名ずつ参加しました。

前半は災害対策課の方のセミナー、後半は意見交換で有意義な1時間を過ごすことができました。詳細に関しては、報告書を回覧させていただきます。

来年度、再来年度70周年に向けて国際奉仕をより大きなものにしていきたいと思っていますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

○親睦委員会、松本崇委員長

6月19日の夜間例会のご案内をさせていただきます。皆様ご出席のご回答のご協力ありがとうございました。

約50名のご出席の回答を頂いておりまして、盛大に行われると思います。

夜間例会は18時からになりますので、その前に皆さんお越し頂ければと思います。

R財団よりベネファクター認証の表彰式

森 誠司会員へ

R財団よりベネファクター
認証の表彰を行いました



ベネファクターとは…

ロータリー財団恒久基金に現金で累計1,000ドル以上の寄付を行った時、または遺産計画にロータリー財団恒久基金を受取人として指定した際に1度だけ贈られる称号です。

この称号を持つ人は、国際ロータリーの公式ウェブサイト認証され、認証状と記念の襟ピンが贈られます。

参考：2025.06現在平塚ロータリークラブでは10名の認証者がいらっしゃいます。

今週のお祝い

誕生日祝い…無し

結婚祝い…中谷啓秀会員

入会記念月…森誠司会員、新堀将一会員

メークアップ (MUP)

4名

青木薫会員、清水裕会員、守屋宣成会員、山森啓太会員

本日のスマイル

19名+6グループ

ゲスト

0名

ビジター

0名

卓話・行事予定

6月12日(木)

会長卓話

6月19日(木)

新会員歓迎夜間例会

6月26日(木)

休会

市内例会変更

現在ございません

